

2023年8月9日(水)

東京学芸大学 令和5年度外国人児童生徒等教育研修

対面研修③ 内容と日本語の統合学習2

JSLカリキュラム 教科志向型 事例紹介 (中学校分科会)

愛知県岩倉市立南部中学校

中村 夏帆



対象とする生徒（6名、3クラス合同授業）



		学年	在日期間	ことばの力	社会科学習の 経験・知識
I	A	2年	日本生まれ	教科用語が入った文章を読んで大意を理解できるが、文章構成を工夫した記述は難しい。	<ul style="list-style-type: none"> 日本の小学校で社会科を勉強した。 武士について、甲冑を着て戦いをする人、偉い人等、基本的な知識がある。
	B	2年	9年 (4歳)		
II	C	2年	日本生まれ	支援があれば、教科用語が入った文章を理解し、自分の考えを話すことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 小学6年生の修学旅行で京都・奈良に行き、寺社を巡った。
	D	2年	日本生まれ		
III	E	2年	6ヶ月 (中1)	日常的な内容や自分について、簡単な日本語で質問に答えたり、考えを話したりできる。	<ul style="list-style-type: none"> 母国での学習経験が少ない。 母国で歴史の学習経験が有る。
	F	1年	4ヶ月 (小6)		

学習単元と具体的な学習内容

実施日：2023年6月

教科：社会科歴史分野

単元：第4章 「近世の日本」

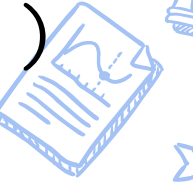
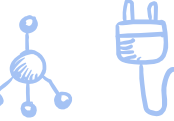
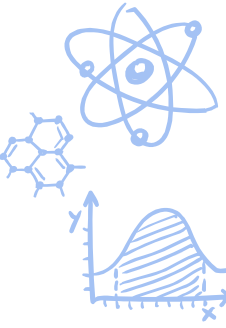
2節 「江戸幕府の成立と対外政策」

② さまざまな身分と暮らし

(東京書籍『新しい社会 歴史』)

⇒キーワード：

- ・ 江戸幕府、支配、身分
- ・ 武士と町人…武士・百姓・町人
- ・ 村と百姓…年貢（四公六民・五公五民）



H₂O

授業の目標

社会科としての目標

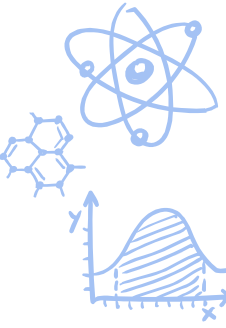
- 江戸幕府が、どのように人々を支配したのか説明できる。
→ 武士と百姓の身分の差別、厳しい年貢の取り立て

身につけさせたい学びのスキル

- グループで話し合いながら、資料（絵、書物）を読み取る。
- 資料からわかったことを元に推測する。

身につけさせたい日本語のスキル

- I II** 資料から推測したことを、プリントにまとめる。
表現：「～だから、～と思う。」
- III** 問いに対して考えたことを、根拠を示して書く。
表現：「～から。」



授業の流れ

NHK for school アクティブ10レキデリ「江戸時代 なぜ数学がブームになった？」
https://www2.nhk.or.jp/school/watch/bangumi/?das_id=D0005120538_00000

授業の展開

①これまでの学習から、なぜ江戸時代に数学の本が売れたのか仮説を立て、プリントに書く。 (個人→班→全体)

②活動1「七難七福図鑑」から、どんな人がいて、何をしているか、3人で話し合いまとめる。 (個人→班)

③活動2『塵劫記』を読み取り、どのような人が買ったのか話し合う。 (個人→班)

④江戸時代に、『塵劫記』が売れた理由を、プリントにまとめる。 (個人→全体)

⑤本時の学びを自分事として捉え、将来にどうつながるか考える。 (個人)

B: ・他の国よりも頭が良くなって他の国よりも得するため。
・しょうらいのために勉強している。
・輸入してきたものを計算するため。→お金とか物

C: お金もちの人が、他のお金もちの人とどっちが金をもっとあるか数学を使って調べてた。

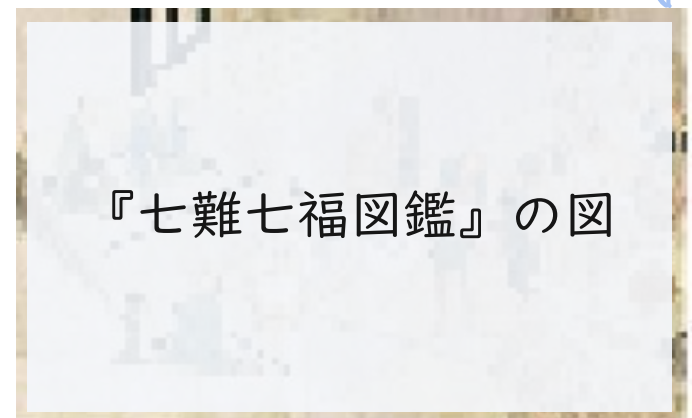
E: 「(武士を指さして) ボス。」

T: 「(黒板に書きながら) 武士と言います。どうして、武士は偉い人、ボスだと考えましたか。」

F: しごとしている人。米のおもさをかぞえている人。米のかんりをするひと。

A: 「武士は米俵を数えているけど、百姓は米を出しています。武士はもらうだけだから。」

『七難七福図鑑』の図



授業の流れ

NHK for school アクティブ10レキデリ「江戸時代 なぜ数学がブームになった？」
https://www2.nhk.or.jp/school/watch/bangumi/?das_id=D0005120538_00000

授業の展開

①これまでの学習から、なぜ江戸時代に数学の本が売れたのか仮説を立て、プリントに書く。(個人→班→全体)

②活動1「七難七福図鑑」から、どんな人がいて、何をしているか、3人で話し合いまとめる。(個人→班)

③活動2『塵劫記』を読み取り、どのような人が買ったのか話し合う。(個人→班)

④江戸時代に、『塵劫記』が売れた理由を、プリントにまとめる。(個人→全体)

⑤本時の学びを自分事として捉え、将来にどうつながるか考える。(個人)

A: 「『かけざん』って書いてある！」

T: 「え？それは知らなかった。どこにあるが教えて。」

C: 先生、これ！『かけざん』。これは、3の段。」

F: 「(七難七福図鑑を指さして) 絵の中にそろばんがある！」

A: 「武士が使っていたんだ。百姓もそろばんを勉強したんじゃない？」

T: 「どうして百姓もそろばんの勉強をするようになったと思いますか？」

D: 武士にあげなくちゃいけないから。

T: 「はい、(板書しながら、) それを年貢と言います。」

B: しごとがあるから数のべんきょうがだいじから。数学できないだったら、しごとできない。

